

◆病院の理念◆

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。



新年のご挨拶

年頭のご挨拶

病院長 黒岩 敏彦



新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

ご存知のように、昨年、団塊の世代が65歳以上の前期高齢者となりました。2025年には75歳以上の後期高齢者になって人口の18%を超えるとされています。この高齢化社会に対処するために厚生労働省は地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。大阪医科大学は、昨年1月に訪問看護ステーションを立ち上げ、7月に三島南病院を開院いたしました。以前からある健康科学クリニックが未病や病気の予防を、高度急性期・急性期を本院が、急性期・回復期・慢性期を三島南病院が、そして在宅医療を訪問看護ステーションが担当するというシームレスな地域包括ケアシステムの構築が進みました。今後は、より一層地域の医療機関、介護施設、行政等との連携を密にはかりながら協力して地域医療に貢献していきたいと考えています。病院を退院された後、住み慣れた馴染みの深い地域

で医療や介護を受けられる、このような社会的な機運になっていきます。在宅医療の推進に向けて取り組みを強めてまいります。

本年4月には、いよいよ中央手術棟が稼働します。この新棟は、ハイブリッド手術室・内視鏡手術室・ロボット手術室などの最新設備を備え、高度な医療を実現できる施設として動き始めます。手術室は現在の13室から20室に、ICUは8室が16室になりますので、患者さまをお待たせすることなく手術させていただけます。また、併設する2病棟も療養環境に配慮されたものになっていますので、快適に過ごしていただけたと思います。

これからも本院は、特定機能病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院など多くの指定を有する施設として、高度な技術を駆使して多岐にわたる先進医療を推進する施設として機能性を高めるとともに、地域の皆さま方が安心して医療を受けられる体制づくりに向けて尽力していく所存です。地域医療に貢献するとともに世界に発信できる医療を目指して、患者さまに寄り添った医療を進めてまいりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

信頼に値する 看護サービスを目指して

看護部長 西山 裕子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

申年は十二支の9番目「申(さる)」は「去る」という意味を表し、「悪いことが去る」「病が去る」など良いことや幸せがやって来る年とする説がございます。何か良きことが起こる予感を信じ、この年をお過ごしになられますよう、本年が皆さまにとって良き一年になりますように心より祈念いたします。

さて、厚生労働省は「2035年、日本は健康先進国へ」をスローガンに「子どもからお年寄り、また患者さまや住民、医療従事者まですべての人が安心して生き生きと活躍し続けられるように、さまざまな暮らし方・働き方・生き方に対応できる20年先を見据えた保健医療システムをつくる。1人ひとりが主役となる健やかな社会を実現していく」としています。すでに「地域包括ケアシステム」が推進され、病院を基盤とした従来の病院完結型から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型へと転換がはかられています。医療施設に入院受療していた住民の方々が、住み慣れた地域において受療しつつ療養し、健康の保持・増進・病気の予防に始まり、病気・障害を抱えながらの療養生活の継続、そして人生を全うするまでを地域で支えるということです。本院も未病から在宅、療養から看取りまでの役割を果たすべく「健康科学クリニック」「訪問看護ステーション」「三島南病院」と、組織体

制を整えております。一方、全国に84ある「特定機能病院」の1つとして、北摂地域の中核病院としての役割を果たしていくことも重要となります。厚生労働省は「特定機能病院」は高度先進医療を含むより高度な専門医療を必要とする患者さまおよび、病気が進行中の急性期の患者さまを看ることが望ましいとしています。高度医療を必要とする患者さまに、1人でも多く最新医療を受けていただきたい、そこで導入されたのが「紹介制」です。患者さまにはまず一般の病院やかかりつけ医で診察を受けていただき、そこで高度医療が必要と診断されたとき特定機能病院に紹介していただいて、治療が終了した後は紹介元であった医療機関へ再び紹介させていただくという制度です。これにより、本当に高度医療が必要な患者さまに、必要な医療が必要な時によりスムーズに治療を施すことができるようになります。地域の診療所や病院と密な連携をはかり、役割を果たしてまいりたいと存じます。

本年4月には新手術棟が稼働します。地域中核病院として、特定機能病院として、日々研鑽を重ね「大阪医大でよかった」と言っていただけの信頼に値する看護サービスを目指して、職員一同誠心誠意努める所存でございます。本年も倍旧のご支援のほどお願い申し上げます。新年のご挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

中央手術棟完成に向けて



中央手術部は1977年12月、中央診療棟2階に設置されました。現在、中央手術部は、中央手術室、回復室、麻酔科術前診察室、麻酔科術後診察室からなり、周術期管理の臨床と教育(研修)を行っています。中央手術室は13室からなり、増加し続ける手術待機患者に対応するために「24時間体制で断らない手術室」として運営してきましたが、ついに2014年には総手術件数9,007件、麻酔科管理症例6,043件となりました。10年前と比較すると総手術件数2,175件の増加であり1.32倍になっています。

集中治療部も1977年12月、中央手術部集中治療室として主に術後患者の集中治療施設として設置されました。2012年10月からは中央診療部門の一つとして集中治療部となりました。集中治療部は8床の病床を有し、24時間体制で重症患者の集学的治療に当たっています。

手術待機患者に対応するなど療養環境の向上を目指した中央手術棟は、1階 中央材料室、2階 集中治療室(16床)、日帰り手術室(4室)、3階 中央手術室(16室)、ハイブリッド(CT)手術室、ハイブリッド(アンギオ)手術室、バイオクリーン手術室2室を含む、4階 胸部外科病棟、5階 消化器外科病棟、6階 機械室からなります。「24時間体制で断らない手術室」を継続するために、引っ越しの期間中も緊急手術に対応できるように体制を整えています。2016年4月1日からは、新手術室20室、集中治療室16床がフル稼働できるようにシミュレーションを行い備えています。

今後、中央手術棟では患者さまの高齢化、高度医療の推進による重症患者の増加に対応し「24時間体制で断らない手術室」を継続するため、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、物流、清掃、事務職員などのチーム医療を実践することで、効率的な利用と安全性の両立をめざして運営していきます。



中央手術部部長
南 敏明

市民公開講座

第5回 平成27年11月21日

PET検査について

放射線医学教室 小森 剛



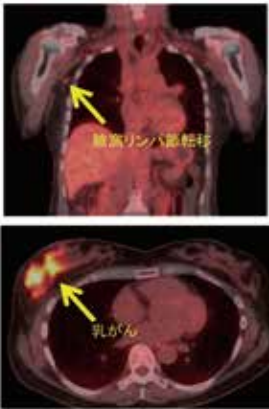
PET検査は、がんを検査する方法の一つです。「PET」とは「陽電子放射断層撮影」という意味で、ポジトロン・エミッション・トモグラフィ（Positron Emission Tomography）の略です。通常がんは、実際に腫瘍ができたり、体に変化が起きたりしてから見つかることが多く、がん細胞の成長がある程度進んでからでないと発見しにくい病気でもあります。早期発見のために特殊な検査薬で「がん細胞に目印をつける」というのがPET検査の特徴です。PET検査では、検査薬を点滴で人体に投与することで全身の細胞のうちがん細胞だけに目印をつけることができます。PETにより、従来の検査に比べてずっと小さな早期がんまで発見することが可能になりました。PET検査は、がん細胞が正常細胞に比べて数倍多くブドウ糖を取り込む、という性質を利用します。ブドウ糖に近い成分（FDG）を体内に注射し、しばらくしてから全身をPETで撮影します。するとブドウ糖（FDG）が多く集まる部位がわかり、がんを発見する手がかりとなります。従来のレントゲン（X線）やCT、MRIなどの検査は、形状からがんを見つめますが、PETはこのように細胞の性質を調べてがんを検出します。

本院では、最新型のGE社製PET-CT装置1台が稼動しています。今回は、PET検査の実際について講演しました。

右乳がん
右腋窩リンパ節転移

腋窩リンパ節転移

乳がん



OSAKA MEDICAL COLLEGE MISHIMA-MINAMI HOSPITAL

大阪医科大学三島南病院
サイバーナイフセンター

サイバーナイフによる定位置放射線治療とは、目標とする病巣に対して多方向から集中的に放射線を照射することにより門数の少ない通常の放射線治療よりも、周囲の正常組織への放射線量を極力抑えることができる放射線治療です。

◇適用疾患は何ですか？

当院では頭頸部や肝臓の腫瘍に対して治療を行っています。

◇治療費は？保険はききますか？

健康保険が適応されます。治療費は63万円+（MRなどの検査費）+入院される場合は入院費などが保険適応されます。1割負担の方は10万円前後、3割負担の方は20万円前後となります。

また、高額医療費の払い戻しの対象となります。詳細は当院医事課にお問合せください。

◇副作用はありますか？

治療中はなにも感じません。数パーセントの方で、治療後数時間で放射線宿酔、車酔いのような症状が出現することがあります。

◇受診のしかたは？

受診方法は電話予約です。受診の際、現在かかっている病院の紹介状や画像データが必要です。お気軽にお問合せください。



電話予約 サイバーナイフセンター受付 TEL 072-677-1367



看護スペシャリスト
専門看護師・認定看護師の活動

Part 7

生命の危機的状況にある患者さまと
そのご家族の方々へ、チーム一丸となって
最善で最良の看護を提供します。

集中ケア認定看護師 岩岡 由子

近年、先進医療・救急医療の発展により、複数の病気を抱えながら治療を受けられる患者さまが増えています。それに伴い病状が重篤化し、入院が長期化する患者さまもおられるため、急性期の状態を乗り越え、入院前の生活に戻ることができるよう支援することが重要になってきます。当院は、平成28年4月にICU・手術室を拡充した中央手術棟を開設し、高度急性期病院として、今後更に安全で質の高い医療を提供するための環境を整備しています。

私は、入職してからICUに勤務し、日々重症な状態の患者さまとそのご家族に関わらせていただいています。私が集中ケア認定看護師を目指したきっかけは、これまで培ってきた知識・技術を確実なものとすると同時に、最新の情報を得ることで集中ケアを必要とされる患者さまとそのご家族一人ひとりの不安や疑問に迅速に対応していきたいと考えたからです。

集中ケア認定看護師には、さまざまな医療職種スタッフと連携し、集中的な治療を受けておられる患者さまの病状の変

化を予測した重篤化の回避と、1日も早い社会復帰を目指したりリハビリテーションを実施することで、長期間の安静による筋力低下の予防および回復を促進させる役割があります。

現在ICUでは、手術などで入室予定の患者さまのもとに、事前に看護師が病棟まで訪問をしています。患者さまの病状や入院前の生活背景を把握するとともに、患者さまやご家族が抱えておられる不安に向き合い、安心して治療・看護を受けていただけるよう援助しています。また予定の手術だけでなく、緊急で入院された方、一般病棟におられる重症な患者さまに対しても、同様に生命の危機的状況を乗り越え、退院後のQOL（生活の質）の向上を目指して、医師をはじめ多職種による医療チームが一丸となって最善で清涼の医療・看護を提供しています。

今後も集中ケアが必要な患者さまとそのご家族の方々が、安心して治療や看護を受けることができるように、より一層質の高い看護を提供していきたいと考えています。

行事食 ー小児食・運動会ー

栄養部

栄養課では、入院中の患者さまに季節を感じていただけるように、毎月行事食を提供しています。行事食では、季節ごとの旬の食材を取り入れ、いつもと違った雰囲気のある食事を提供しています。毎回栄養士と調理師で献立会議を開き、患者さまに楽しく召し上がっていただけるようにメニューを考えています。食事についているメッセージカードは病院ボランティアさんにも折り紙などご協力をいただいています。今回は小児食の「運動会」を紹介します。



栄養課 平澤 有美子



＜運動会＞

小児科の行事に合わせて、普段の食器ではなくかわいいお弁当箱に詰め込みました。ハンバーグやエビフライなど子どもに人気のおかずを入れました。

わかめごはん
ハンバーグ
えびフライ
たこウィンナー
卵焼き
どうぶつゼリー・カード

ご紹介

OSAKA MEDICAL COLLEGE MISHIMA-MINAMI HOSPITAL

大阪医科大学三島南病院
（ディケア・訪問看護ステーション・ケアプランセンター併設）

平成27年7月1日開設

《アクセス》
JR茨木駅又は阪急茨木市駅から「玉川橋団地・白川3丁目・校方市駅方面」行き京阪バスに乗り、次の最寄りの停留所をご利用ください。
●「白川3丁目」下車（南へ徒歩1分）
●「玉川橋団地」下車（東へ徒歩2分）

《住所》〒569-0856 高槻市玉川新町8-1

電話 072-677-1333

《ホームページ》http://www.omcmnh.jp

